

第20回 情報システム学会 全国大会・研究発表大会 学生奨励賞 受賞記

大阪産業大学 辻元悠亮

この度は、学生奨励賞を賜り、心より光栄に存じます。ご指導いただきました山田先生をはじめ、研究室の皆様、情報システム学会のご関係者、そして大会参加者の皆様に心より感謝申し上げます。また、研究の実施に多大なご協力をいただいた大阪府大東中央幼稚園と岐阜県くるみ幼稚園の皆様にも、心よりお礼申し上げます。

今回発表させていただいた「幼保施設園児保護者の園務情報システム利用要因」は、保育者の業務負担軽減のためのICT導入の一環として、主たる利用者である保護者の情報システム利用要因に焦点を当てたものです。本研究では、技術受容モデル(TAM)を基に保護者の情報システム利用要因を調査・分析し、情報システムの利便性やセキュリティの重要性を明らかにしました。

特に、情報システムがどれだけ役に立つかを示す「知覚された有用性」が利用意図の形成に強く寄与する一方で、セキュリティへの懸念や情報システムの安定性が利用促進における課題として浮き彫りになりました。本研究の成果は、幼保施設において、保育者と保護者の双方が情報システムを効果的に活用できる環境を整備するための指針となることを目指しています。

発表後には、利用者が情報システムに利便性を求めるのは当然であり、対象の幼稚園ならではの独自性をより強調すべきであるといった貴重なご意見やアドバイスをいただき、今後の研究を深める励みとなりました。これからも研究に一層専念し、システムの改善や普及に貢献できるよう努力を続けて参ります。

改めまして、この度の受賞に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。